

砂谷地区

(砂谷牛乳・久保アグリファーム)

佐伯区湯来町

水内地区

(湯の山温泉)



Good!



参加無料  
事前申込要

定員40名  
(先着順)

# 地域×新規事業者 つなぐ・つながる交流会

## [ 中山間地域ビジネス進出支援セミナー ]

広島市内から車で45分の中山間地域。地域資源豊富な湯来町「砂谷地区」「水内地区」で地域も事業者もWin-Winなビジネスにチャレンジしてみませんか？

令和元年  
11月29日(金)

13時～16時 (12時30分開場)

13時開会・あいさつ / 16時閉会

会場 合人社ウエンデイ  
ひと・まちプラザ  
(北棟6階マルチメディア実習室)  
広島市中区袋町6-36 ※駐車場はありません

申込締切日 11月22日(金)まで

[ 第1部 ] 講演

13時10分～

「地域課題は資源そのもの！  
瀬戸内海の真ん中でなぜ若者が集い、  
事業が次々と生まれるのか」

井上 明 氏 / 合同会社よーそろ 代表執行役員

[ 第2部 ] 地域の紹介(佐伯区湯来町)

14時10分～

① 砂谷地区 ~広島西の軽井沢~ 「高原の里」砂谷

② 水内地区 「生きる」「活きる」「行き交う」  
可能性無限大 人が「いきる」水内(みのち)

[ 第3部 ] 地域と事業者との意見交換会

15時～

□ お申し込み・お問い合わせ

広島市 企画総務局  
地域活性化調整部  
地域活性推進課

広島市中区国泰寺町1-6-34

☎ 082-504-2837

FAX 082-504-2029

✉ [chiikikassei@city.hiroshima.lg.jp](mailto:chiikikassei@city.hiroshima.lg.jp)

※ お申し込み時に社名、参加者氏名、連絡先をお知らせください。

# 地域×新規事業者つなぐ・つながる交流会

## [ 中山間地域ビジネス進出支援セミナー ]

令和元年 11月29日(金) 13時～16時

12時30分 開場 / 13時 開会・あいさつ / 16時 閉会

会場 合人社ウエンディひと・まちプラザ (北棟6階マルチメディア実習室)  
広島市まちづくり市民交流プラザ 広島市中区袋町 6-36 ※ 駐車場はありません

[ 第1部 ] 講演 13時10分～

### 「地域課題は資源そのもの！ 瀬戸内海の真ん中でなぜ若者が集い、 事業が次々と生まれるのか」



井上 明 氏

合同会社よーそろ 代表執行役員  
広島市安佐北区出身 41歳。妻の出身地呉市に  
Iターンし御手洗で観光ボランティアガイド  
からのちに起業。



2011年江戸時代の船宿を改修したカフェを皮切りに同御手洗地区で7つの空き家を改修しギャラリー、鍋焼きうどん店、物産館、ゲストハウス、和食レストラン、一組限定宿、シェアハウスなど優れた感性を持つ若い移住者を引き込みながら地域の物語、産物を活かした様々なビジネスを創出、展開し続けている。御手洗地区は国の重要伝統的建造物群保存地区。人口は約200人、高齢化率は60%を超える。

少子高齢化が進む中山間地域には沢山の課題があります。しかしそれは裏を返せば沢山の資源とチャンスを持っているということ。地域に眠る資源・ニーズと事業者の皆さまが持つ優れた技術・サービスのマッチングを図り、新たな事業創造と地域が育つ好循環を生み出す第一歩になれば幸いです。

[ 第2部 ] 地域の紹介 (佐伯区湯来町) 14時10分～

広島市中心部から車で約45分ほど。西中国山地など雄大な大自然に囲まれた湯来町は山峡の温泉郷といわれる温泉街の町です。広島藩主、浅野公の湯治場として栄えた「湯の山温泉」の他、全国に名を馳せる鮎、沢山の蛍が舞う清流「水内川」、800本の梅が咲き乱れる「梅の里」、新緑や紅葉の名所「石ヶ谷峡」など四季折々素晴らしい観光資源を有しています。

#### <砂谷地区>

#### ～広島西の軽井沢～「高原の里」砂谷

砂谷地区は標高約370mの高原広陵地で、澄んだ空気と良質な水を有し農業、畜産が盛んな自然豊かな地域です。久保アグリファームでは広大な牧場での乳搾りやバターづくり体験を提供し、併設するジェラート工房もあわせ、沢山の家族連れやカップルで賑わっています。牧場、自然を活かした新しい体験プログラムやレストラン、宿泊施設など「人間力回復の場」、「子供が育つ自然体験の場」をフル活用した様々なビジネス展開の可能性を持っています。地域一体となって人材育成、産業振興に取り組む機運が今、高まっています。

#### <水内地区>

#### 「生きる」「活きる」「行き交う」可能性無限大 人が“いきる”水内(みのち)

水内地区は、水内川と太田川流域の豊かな田園と山々に囲まれた地域です。また、古くから湯治場として親しまれる「湯の山温泉地」には、現在も年間十数万人の利用があり、国内はもとより海外からの人も年々増加傾向中です。道路改良によるアクセス向上と生活環境の高まりとともに歴史ある良質な“温泉”というコンテンツを活用したインバウンドビジネスなど、可能性は無限大です。